

再開発ビル起工

岡山駅前 26年夏完成予定

JR岡山駅東口、岡山市北区駅前町1丁目地区の地権者らでつくる市街地再開発組合は7日、現地で再開発ビルの起工式を行った。岡山県内最大級のマンション、ホテルなど3棟で構成する複合施設で、2026年夏ごろの完成予定。総事業費は約340億円の見込み。

地区は市役所筋や商店街に面し、映画館「岡山メルパ」などがあつた約1万平方メートル。2月から解体工事を進めている。再開発ビルは3棟延べ約8万4千平方メートル。市役所筋に面して南側にホテル棟、北側に住宅マンション棟、両棟の東側に駐車場棟を建てる。



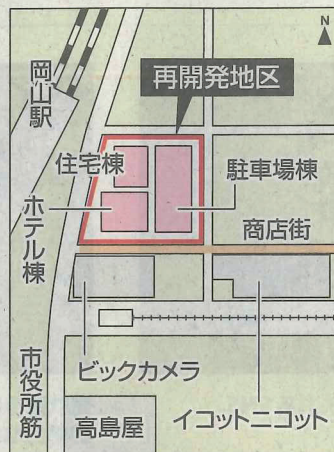
くわ入れする千原理事長

駅前町1丁目地区再開発ビルの概要

建物名	規模	完成見込み
駐車場棟	地上7階延べ 約1万6500平方メートル	2023年12月
住宅棟	地上31階地下2階延べ 約4万8700平方メートル	2026年春
ホテル棟	地上16階地下1階延べ 約1万9100平方メートル	2026年夏



再開発ビルの完成予想図。中央がホテル棟、左奥が住宅棟。右側は岡山駅前商店街



にホテル棟、北側に住宅マンション棟、両棟の東側に駐車場棟を建てる。ホテル棟(地上16階地下1階)は7階より上がホテルで、6階より下はオフィスやコンベンション施設、

には観光バス乗り場も設ける。駐車場棟(7階)は約500台を確保する。式には関係者約70人が出席。くわ入れした再開発組合の千原行喜理事長(成通グループ代表)は「岡山の

店舗の予定。住宅棟(地上31階地下2階)は高さ約108メートルで、分譲マンションを主体に422戸を設ける。両棟の間や映画館の福武観光(同山下)、弁当製造販売の三好野本店(同市中区桑野)といった地権者でつくる再開発準備組合が発足。市の都市計画決定を経て20年8月、再開発組合に移行していた。(久岡広和)

女関口であり、地域の経済、交通、観光の拠点として広く皆さんに愛される施設にしたい」と話した。地区では13年、再開発に向けた任意の研究会が発足。16年にレジャー産業の成通グループ(同駅前町)や映画館の福武観光(同山下)、弁当製造販売の三好野本店(同市中区桑野)といった地権者でつくる再開発準備組合が発足。市の都市計画決定を経て20年8月、再開発組合に移行していた。(久岡広和)